

新技術・情報名	新たに登録される「口之津13号」の本県への適応性について				
場 所 名	長 崎 県 総 合 農 林 試 験 場				
<p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p style="text-align: center;">新品種の来歴</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">系 統 名</th> <th style="text-align: center;">交 配 組 合 せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">口 之 津 13 号</td> <td style="text-align: center;">(♀ × ♂) 清家ネーブル × クレメンティン</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成元年4月13日生興津10号に高接ぎの口之津13号、並びに平成元年3月に無加温ハウス内13年生青島温州に高接ぎ行った同系統について、平成3年12月20日に果実の形質調査を行った。果実重は露地栽培で130g程度であるが、無加温ハウスでは180g程度となった。長円～球形の果実で、剥皮性も優れる。じょうのう膜が薄く、無核果が多く、食味が優れている。12月20日時点で糖度が11.8、酸含量0.70と減酸が早く、可食期は12月である。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>口之津13号は、施設栽培で12月成熟し、剥皮性のあるネーブル系統として期待される。</p> <p>3) 適用範囲</p> <p style="text-align: center;">カンキツ栽培地帯</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>露地栽培では果実肥大が悪く、施設栽培で特性を発揮する品種である。</p>		系 統 名	交 配 組 合 せ	口 之 津 13 号	(♀ × ♂) 清家ネーブル × クレメンティン
系 統 名	交 配 組 合 せ				
口 之 津 13 号	(♀ × ♂) 清家ネーブル × クレメンティン				

2. 具体的データ

表1 口之津13号の果形及び果皮の特性

調査 月日	果形 指数	1果 平均重 (g)	果			皮			
			果皮色	カラーチ ャート値	粗滑	はく皮 の難易	厚さ (mm)	浮皮	
露地	12. 20	102	133	黄橙	7.1	滑	中	3.0	無
ハウス	12. 20	108	179	濃橙	8.7	滑	中	2.4	無

表2 口之津13号の果肉及び果汁の特性

調査 月日	果 肉		さじょう		果 汁			含核数	
	果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜 厚	色	硬さ	糖度	クエン酸 含 量 (g/100ml)	糖酸化		
露地	12. 20	72.0	薄	橙	軟	11.8	0.70	16.9	4.0
ハウス	12. 20	78.3	薄	橙	軟	11.6	0.75	15.5	1.0

3. その他特記事項

担当部科名：常緑果樹科

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

研究期間：平成1年～5年

発表資料名等：平成3年度長崎県果樹試験場業務報告